

鎌倉駅西口駅前時計台広場の再整備に関する整備方針（素案）に対する意見と市の考え方

再開発課

カテゴリー	市民の皆様からの御意見	市の考え方
喫煙所	<p>《代替喫煙所について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙所については廃止ではなく移設すべきである。喫煙所を廃止することにより、駅周辺のみならず周辺地域での路上喫煙を誘発する危険性がある。禁煙区域を設定している市の責任において、喫煙者・非喫煙者が相互に受け入れられる喫煙環境を整備すべきである。設置場所・設置費用についてはJTなどの協力を得て、非喫煙者の感情への配慮も必要であると考ええる。（屋内に喫煙所を設置するのであれば、利用者から高すぎると思わせない程度の利用料を徴収することを検討してもよいのではないかと。） ・喫煙所は別途設置してください。各駅近くの喫煙場所を見ると、喫煙人口はかなりおり、無理やり無くすと、隠れて喫煙したり、駅周辺の私有地で喫煙したりして吸殻のポイ捨てを増やし美観をそこないます。（一例）市役所本庁舎の駅近部分、駐輪場のあたり） 	<p>当広場の喫煙所は廃止しますが、廃止にあたっては事前に周知、広報等を行い、吸殻のポイ捨てが発生しないように注意喚起をしていきます。鎌倉駅西口周辺には喫煙所の適地がありませんので、喫煙所の移設や新設は難しい状況です。なお、今後の喫煙所については受動喫煙対策を講じた喫煙所として整備することが必要なことから、関係機関とも調整し対応していきたいと考えています。喫煙所の廃止にともなう路上喫煙の誘発等の可能性や市の考え方を整備方針に記載いたします。（整備方針 P10）</p>
	<p>《喫煙所の廃止について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙所廃止には賛成。 ・喫煙所を撤去することは賛成である。 ・喫煙所の廃止に賛成。わたしは路上喫煙防止条例策定時にも時計台広場への喫煙所設置に反対したが、ようやく鎌倉市が世界標準である受動喫煙防止の視点に基づいて喫煙所の廃止を決定したことを喜んでいる。 	<p>喫煙所は廃止します。</p>
	<p>喫煙所は休日を含めて観光客の方が多く市民の方は少ないと思われる。東京のテナントビルには喫煙所が設置されています。喫煙所に箱物を作るのにお金がかかるといいますが、たばこ税というものがありますので可能である。</p>	<p>喫煙所については、受動喫煙対策を十分に図れないため広場利用者などの御意見や設置等の費用を勘案する中で廃止します。今後、民間事業者が設置する喫煙所については、その普及を促すための補助制度の創設について、庁内の担当課と調整をしていく予定であり、その旨を整備方針に記載いたします。（整備方針 P10）</p>
看板	<p>看板類の廃止・移設・統合は、単純に数を減らすのではなく、より効果的に案内できるものを設置すべきである。混雑の原因は、「迷うことによる立ち止まり」により人の流れが停滞することが一因でもあり、駅構内に案内図や誘導標識などの設置、および電車内でのアナウンスなどの協力をJR東日本・江ノ島電鉄から得て、駅前の人の流れがスムーズになるようにしてほしい。</p>	<p>看板類を廃止・移設・統合し、案内がより効果的になるように、看板類の設置を考慮します。駅前の人の流れがスムーズになるように、JR東日本・江ノ島電鉄とも協議していきます。</p>
	<p>観光案内板は必要だが、LAUMIのデジタルサイネージは不要。現在の観光案内板の裏側（地下通路側）無意味な絵になっている。観光案内板の配置が不明だが、裏面も有効活用したい。</p>	<p>LAUMIのあり方や観光案内板の裏面の活用が可能かどうか、所管課と協議していきます。</p>
	<p>西口ロータリー側の広域避難所看板や放置自転車移動保管・同禁止区域図などの前の歩道が狭い。特に広域避難所看板の前は観光客が観光案内板の代わりに見ている例が多い。歩道の拡幅ができないなら、特に放置自転車関連の看板はここにある理由はないので撤去。</p>	<p>植栽帯の縮小や看板類の移設、廃止、統合等により、ロータリー側に通路空間を確保します。看板や区域図の移設や撤去については、現在関係課と調整中ですが、人の通行の妨げにならない位置に移設することを考えています。</p>
	<p>看板は市内の案内図だけでよい。</p>	<p>看板については、条例で設置が義務付けられているものもあり、現在所管課と形態や設置位置について調整中です。</p>
	<p>広場の空間を阻害しない最小限の情報源が必要 市民及び観光客のための観光基盤施設は必要ないが、東口観光案内所にはない情報として広場の温度や湿度等生活に密着した情報板を設置してはどうか。ほかにも小中学生等への有用な情報が出せると良い</p>	<p>駅前広場は、限られた狭小なスペースであり、今回の整備では人だまりスペースを増やすことで利用しやすい広場空間を創出することを目的としており、新たな情報板を設置することは難しいと考えています。しかしながら、小中学生が広場をよく利用していることから、様々な年代の方が利用しやすい広場になるよう整備を進めてまいります。</p>

カテゴリー	市民の皆様からの御意見	市の考え方
ベンチ	広場の周り(内側)をベンチ(コンクリート製)にし、座れるスペースを多くすること(高齢者、幼児対策)	ベンチの数が少ないことで高齢者や幼児等広場利用者に対して、十分な休憩スペースがあるとは言えない状況となっており、可能な限り確保したいと考えています。数量や材質等については、平成30年度に実施する実施設計において、決定していきます。
	パーゴラ・ベンチの素材について 耐候性木材の中で、イペ材またはアイアイウッド材が適すると思います。ウェスタンレッドシダーは、見た目の安っぽさと耐久性の面で劣ります。	現在、材質等について、詳細は決定していませんが、平成30年度に行う実施設計にて、御意見を参考として、材質等を検討してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ベンチは必要。高齢者や身障者のためだけでなく食事場所の提供の意味もある。 ベンチの設置方法は、高さを45センチ以上であれば、足の悪い方にはありがたいです。また、長いベンチにすれば大勢の方が座れます。 	ベンチの数量、材質、形状等については、平成30年度に実施する実施設計において、決定していきます。
日陰	夏季を考え日陰になる樹木を増やすこと。	今回の整備では、限られたスペースの中で利用者空間を確保していく必要があります。日陰をつくるようなボリュームのある樹木は、占める面積も大きいため、パーゴラ等を活用して日陰を創出しつつ、人だまりスペースを確保できるよう整備してまいります。
	パーゴラの高さについて イメージスケッチに描かれた高さは過大です。高さ2.5m前後のヒューマンスケールに抑える方が良いと考えます。	パーゴラの高さについては、御意見を参考とし、平成30年度に行う実施設計で詳細について検討してまいります。
	パーゴラの雨よけ機能について パーゴラの空隙を透明なアクリル板で繋ぐことにより、にわか雨時の非難場所としての役割も付加させたいと思います。	雨よけ機能については、御意見を参考とし、平成30年度に行う実施設計で検討してまいります。
	スペースを確保するため、桜とクスノキについては、現在のものを撤去し、思い切って植栽程度にしてはどうか。日陰はパーゴラを屋根付きに変更して確保。	利用者や近隣関係者、町内会等の要望で桜とクスノキは現在の場所に残してほしいという意見を多くいただいております。パーゴラの具体的な形状については、御意見を参考とし、平成30年度に行う実施設計で検討してまいります。
トイレ	西口広場開発よりも優先度の高い事が数多くあります。たとえば、鎌倉観光は歩き主体で行われていますが、その際に感じることで尤も切実なのは、公共トイレが少ない、あるいはあっても汚いことです。寺社などに協力をいただき、トイレを整備することは、優先度が高いと思われる。そのような理由で西口再開発を今、取り組むのは反対です。	平成32年開催の東京オリンピック・パラリンピックを控え、インバウンドをはじめとする観光客の増加が見込まれることから、来訪者及び市民が共存できる快適な駅前環境を整えるため、鎌倉駅西口駅前時計台広場を再整備することとし、第3期基本計画 後期実施計画(平成29年度～平成31年度)の中で重点事業に位置づけ、整備を進めているものです。
	公衆トイレは必須。再検討願いたい。既存の桜を撤去し、拡幅された部分に2階建にしてはどうか。1階はバリアフリートイレ	当初、用地買収し、広場用地を広げ、トイレ、観光案内所などの観光基盤施設の導入も想定していましたが、現時点では、用地取得は困難な状況です。引き続き、用地の取得に向けて地権者との交渉を継続していきます。 鎌倉駅西口周辺でのトイレの必要性については、市としても認識しており、トイレ機能の導入について実施の可能性を検討するとともに、周辺の事業者等へトイレの利用について、協力をお願いし、協力が得られた場合には観光マップやホームページでトイレ協力店として周知を図る等、取組みをしていきます。(整備方針 P9)

カテゴリー	市民の皆様からの御意見	市の考え方
ウォーナー	<ul style="list-style-type: none"> ウォーナー像は市役所前交番前の植栽又は市役所内に移設。この像が西口広場にあるべき理由はない。 ウォーナー博士顕彰碑は広場のどこかに残してほしい。利用者の多くが観光や学校行事で市外から来る人々であるという実態を考えると、鎌倉が戦災から守られたことをアピールする最良の施設である。 	<p>現在、当該碑の取り扱いについては、関連団体と調整を行なっているとありますが、基本的に広場内で移設する方向で考えています。</p>
	<p>ウォーナー顕彰碑について 鎌倉市がこの碑を西口公園に受け入れられた時には、その内容について事実関係を確認されたのでしょうか。 この碑ではウォーナー氏によるリストが存在してそれが京都、奈良、鎌倉の文化財を米軍からの爆撃の被害から守ったとなっていますが、そのリストが実在することを米国の公文書館などで確認されているのでしょうか。 一介のウォーナー氏からの進言を一国の存亡を賭けた戦争をしている米国大統領が採用して敵国のその他の都市の文化財保護に配慮するとお考えになるのでしょうか。 広島や長崎に原爆を投下して無辜（ムコ）の住民を殺戮しておいて恬（テン）として耻じない米国が敵国のその他の文化財保護に配慮するとお考えになるのでしょうか。 また、広島や長崎には守るべき・残すべき文化財がなかったとお考えになるのでしょうか。</p>	<p>当該顕彰碑は昭和62年に市民団体から寄贈されたものです。ウォーナー博士の功績については、批判的な見解もあることは理解しておりますが、鎌倉市としては、本市の世界恒久平和祈念のシンボルとして市民の間にも定着しており、また、寄贈してくださった方々の世界平和を祈念する意思を尊重するために、市有地内でこの顕彰碑を維持していきたいと考えています。</p>
動線	<p>動線として既存の桜のある辺りから駐輪場のある道路への通り抜けはできないだろうか。</p>	<p>整備方針を策定していく中で、通り抜けの通路を設置することも検討いただきましたが、当該地に人の流れができることで、サクラ付近の人だまりが、分断される可能性があり、今回の整備では人だまりスペースの拡充を目指していることから、通り抜け動線をつくらないこととしています。 通り抜け通路をつくらないこととした理由を、整備方針に記載いたします。（整備方針 P12）</p>
	<p>市民の歩行者動線の確保を優先して欲しい。 時計台広場利用者の観光客対市民が4対1という事実は受け止めるが、素案に「歩行者動線の確保が不足」とあるように、時計台広場および交通広場（と呼ぶらしい）の歩行者動線は市民としてずっと不自由感を持ってきた。市役所方面と駅、広場から東口間の歩行者空間が確保されているとはいいがたい。車道で待機しているとは言え人力車により歩行者動線がさえぎられるケースを見かける。さらに詳細な設計を行って欲しい。</p>	<p>今回の整備では、交通広場を含めず、時計台広場のみを対象として整備を進めています。今回の整備範囲内で、より快適な歩行者動線が確保できるように、実施設計で検討してまいります。</p>
植栽	<p>植栽の刈り込み、案内板等占有物の整理統合に賛成。 風水害、地震等、防災上の視点から大木はある程度刈り込んでおくことが望ましい。</p>	<p>クスノキやサクラについては、枝の剪定等を行っただけで管理していきます。</p>
	<p>喫煙エリアがなくなるので、道路（東西の通路）沿いの木を減らし、開放感をもたせること。</p>	<p>樹木については、周辺の植栽を削り、開放感を創出します。</p>
	<p>植栽のあり方をさらに検討 既存の桜を残し楠は低木にすることに賛成。しかし追加の桜については反対。土木、景観、造園の専門家からの助言・アドバイスを受けたとあるが、落葉時の落ち葉と成長時の管理に課題を残す。出世木と言われる槐（エンジュ）などはどうか。</p>	<p>新たに植樹するサクラについては、当該広場に変化や潤いを持たせるとともに、この既存のサクラの後継として、植樹を予定しているものです。今後、専門家からの意見を踏まえ、広場の管理の方法も含めて、決定していきますが、整備方針には、樹木特性を踏まえ決定していく旨を記載いたします。（整備方針 P13）</p>
管理	<p>時計台広場管理団体を確保すべき 時計台広場をいつも清潔に保つためには、近隣住民と連携して市登録の管理団体を置くべき。</p>	<p>時計台の管理については、市民と協働で管理することも含めて、今後決定していきます。 整備方針にはその旨を記載いたします。（整備方針 P16）</p>
	<p>完成後の管理について、道路管理者より公園管理者の方がよいのではないか。現在は、細々とした注意書きが多い。カラーコーンに取り付けられているのも見苦しい。これらは廃止するべき。</p>	<p>広場完成後の管理については、今後庁内関係課と連携しながら決定していきます。また、カラーコーンについても撤去してまいります。</p>
	<p>完成後の管理。 これまでごみ箱と喫煙所は環境保全課が管理してきた。鎌倉駅東口交通広場管理との整合、観光協会との連携を含めて市役所内での管理の透明化を期待する。</p>	<p>時計台広場の管理については、市民と協働で管理することも含めて、今後決定していきます。</p>

カテゴリー	市民の皆様からの御意見	市の考え方
図面	<p>広場の舗装 時計台の周辺に同心円状の多重の白い帯がある。これらは色違いのタイルでつくるのだろうか。最初はよいが補修の際、黒のアスコンで埋めると大変見苦しい。そういうことのないようにしてほしい。</p>	<p>舗装については、御意見を参考とし、平成30年度に行う実施設計にて、具体的に検討をさせていただきます。</p>
	<p>P(22/43)別紙2の完成俯瞰図に背広姿の人々が描かれている。これはオフィス街のイメージ。印象が全く異なる。(作成者のセンスを疑う。現地を見て作成するべき。)(なお、資料の最終ページの別紙2の絵の方が全体のイメージがつかみやすい。「別紙2」が2種類あるのもいかがなものか。)</p>	<p>御意見を今後の参考にさせていただきます。</p>
ゴミ箱	<p>ゴミ箱は必要。本市はゴミの持ち帰りを観光客に強要している。美化の観点で公共のゴミ箱を撤去したことは承知しているが、その結果の評価が不十分。(1月3日午後点検したら、時計台の台座付近にゴミの袋が5つくらいあった。) なおゴミ箱の管理についてはあふれることのないよう十分に注意が必要。従来この管理ができず、ゴミがあふれる状態となり、ゴミ箱を撤去したが、本来やるべきことのすり替えといえる。</p>	<p>鎌倉市では、ゴミの持ち帰りを啓発しており、ゴミ箱は設置しない予定です。</p>
時計台	<p>時計台は残す。</p>	<p>時計台は残す予定となっています。</p>
サクラ	<p>新しく植樹するサクラは、ぜひ鎌倉ゆかりの鎌倉桜(「相ヶ谷」の「普賢象」)を植えていただきたい。鎌倉にも歴史的由来ある桜があることを示す絶好の場となる。</p>	<p>植樹する種類については、御意見を参考にし、樹木の専門家等に意見を伺いながら決定していきます。</p>
水飲み場	<p>水飲み場は必要。旧鎌倉地区には街区公園が少なく水飲み場がない。ペットボトル廃止運動もあることを配慮してほしい。なお、鎌倉十井や五名水の近くにも水飲み場があったらよいと常々思っている。</p>	<p>水飲み場については、御意見をいただいておりますが、現時点では、撤去に向けて検討を行っています。</p>
その他	<p>歩道付近にて人力車の客寄せを禁止するべき。これは西口整備とは関係ないが、そうでなくても狭いところに不適である。路上に看板を置いている場合もある。(違法である。)</p>	<p>違法行為があれば警察とも連携し、対応いたします。</p>
	<p>JR鎌倉駅西口に向って左側に公衆電話ボックスがあり、その横から駐輪場への路地があるが、路面の半分は暗渠で歩きにくい。整備してほしい。</p>	<p>当該路面については、広場整備に併せて整備する予定はありませんが、御意見があったことを担当部署にお伝えいたします。</p>
	<p>西口駅前を車の進入禁止にすれば広場も広く使えます。(現状は、JRと江ノ電が一緒なのでここで待ち合わせをするので歩行者には迷惑です)</p>	<p>御指摘の西口駅前、駅前ロータリーという特性から、タクシー乗り場等として供用されています。現状では、大幅な改修は困難と考えますが、今後の環境の変化を踏まえ、現在の状況の改善を検討していきたいと考えています。</p>
	<p>西口の整備に当たっては、今回の対象区域のみで考えるのではなく、西口全域(御成通りや紀ノ国屋方面も含めて)の整備の一環として将来を見据えて検討してほしい。</p>	<p>今回のパブリックコメントは時計台広場に対するものですが、西口周辺の整備についてもできることから実施していくことを記載いたします。(整備方針 P16)</p>
	<p>広場の正式呼称について 広報上の混乱を避けるために、「西口駅前」を削除し「鎌倉駅時計台広場」としてはどうか。鎌倉市は既存案内板で標記の齟齬が指摘されている。しかしJR鎌倉駅表示や案内板との調和は必要だ。 【参考】東京駅丸の内駅前広場が完成した。特に駅舎との調和がクローズアップされている。 皇居へ続く行幸通りとの一体感、白を基調とする御影石で舗装、赤を基調とする丸の内駅舎を引き立てている、広場の両側に路線バスとタクシーの乗り場、季節ごとに違った表情を楽しむよう桜と紅葉を植樹、夏には水を張るエリアを設け涼やかに見せた等。 東京駅長は「駅舎と調和し、行幸通りとの親和性もある素晴らしい広場ができた。通勤客、観光客の皆様にも楽しんでいただきたい」とコメントしている。</p>	<p>広場の正式名称やJRとの案内板の調和は、御意見を参考に検討させていただきます。</p>

カテゴリー	市民の皆様からの御意見	市の考え方
その他	<p>素案「1 位置及び現況」において、東口と西口の乗降者数の配分率を推定しているが、その根拠が不明であることが問題と考える。西口の混雑を扱っている本件において問題の大きさを把握するための重要な指標であり、JR東日本・江ノ島電鉄の協力を得るなどして、より正確な数値を取得・開示すべきである。このようなあいまいな現状認識で行政を執り行う市の姿勢・能力に疑問を感じる。</p>	<p>細かなデータが得られなかったため、過去の調査等を基に配分率を推定したものです。今後も正確なデータが得られるよう協議・検討してまいります。</p>
	<p>ミニバスやマイカー、タクシー乗り場等西口全体の交通問題が解決するよう行政事業の今後にも期待する。</p>	<p>素案にも記載しましたが、交通広場の再整備及び広場周辺の建物共同化などによる鎌倉駅西口周辺整備事業は、関係者の合意に至らず、事業が進んでいない状況ですが、今後の環境の変化を踏まえ、現在の状況の改善を検討していきたいと考えています。</p>